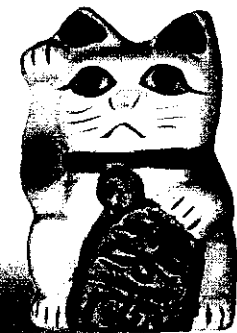


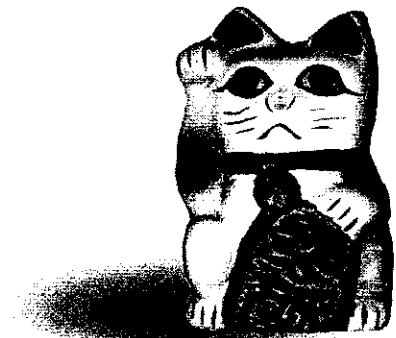
平成13年度「自殺と防止対策の 実態に関する研究」の概要

国立精神・神経センター精神保健研究所
精神保健計画部長
竹島 正



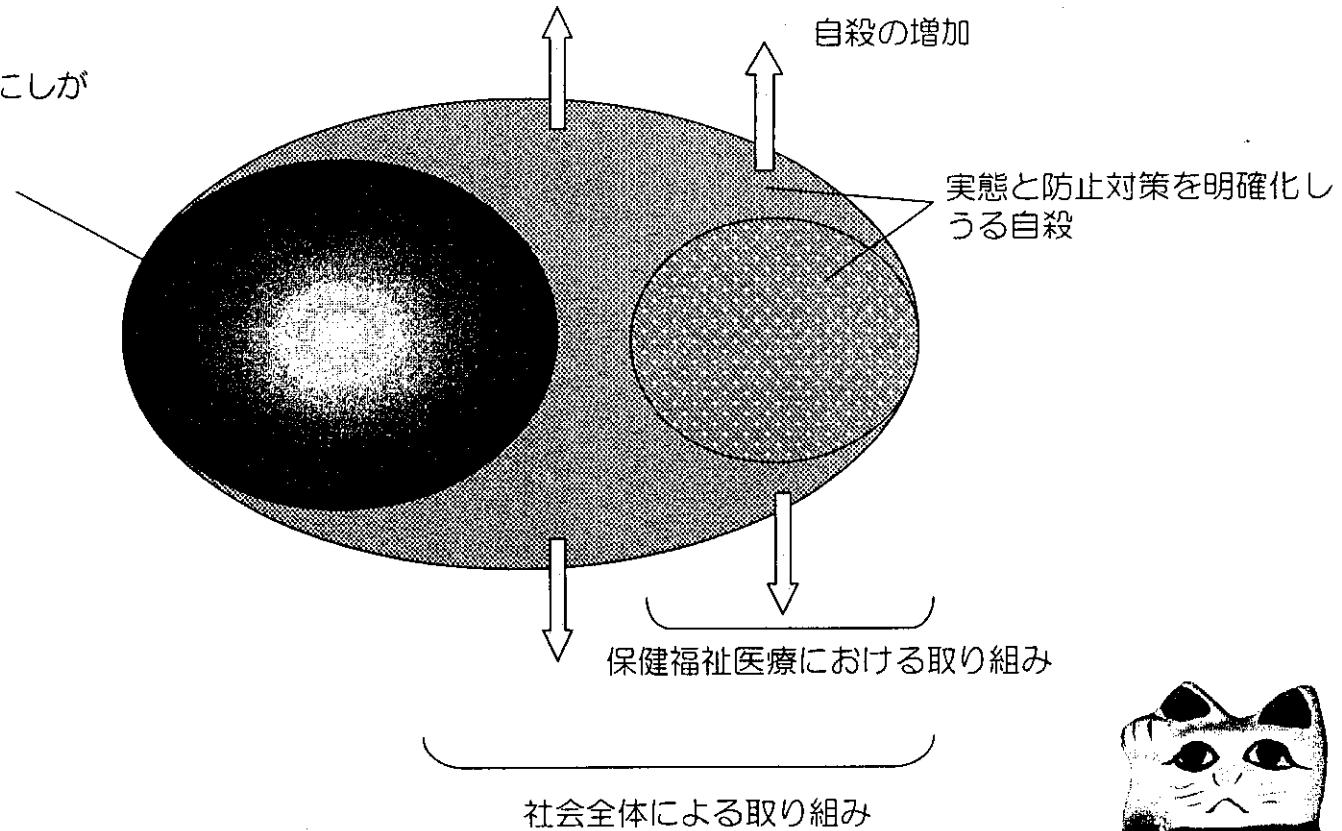
研究の目的

- ❁ 自殺死亡が急増、その防止は緊急課題。
- ❁ 自殺防止対策の実施には、防止対策につながる実態把握が必要。
- ❁ 組織的な調査研究によって、自殺と防止対策の実態把握の方法を明らかにする。

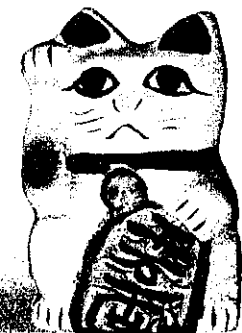


自殺防止対策のイメージ

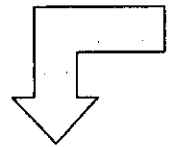
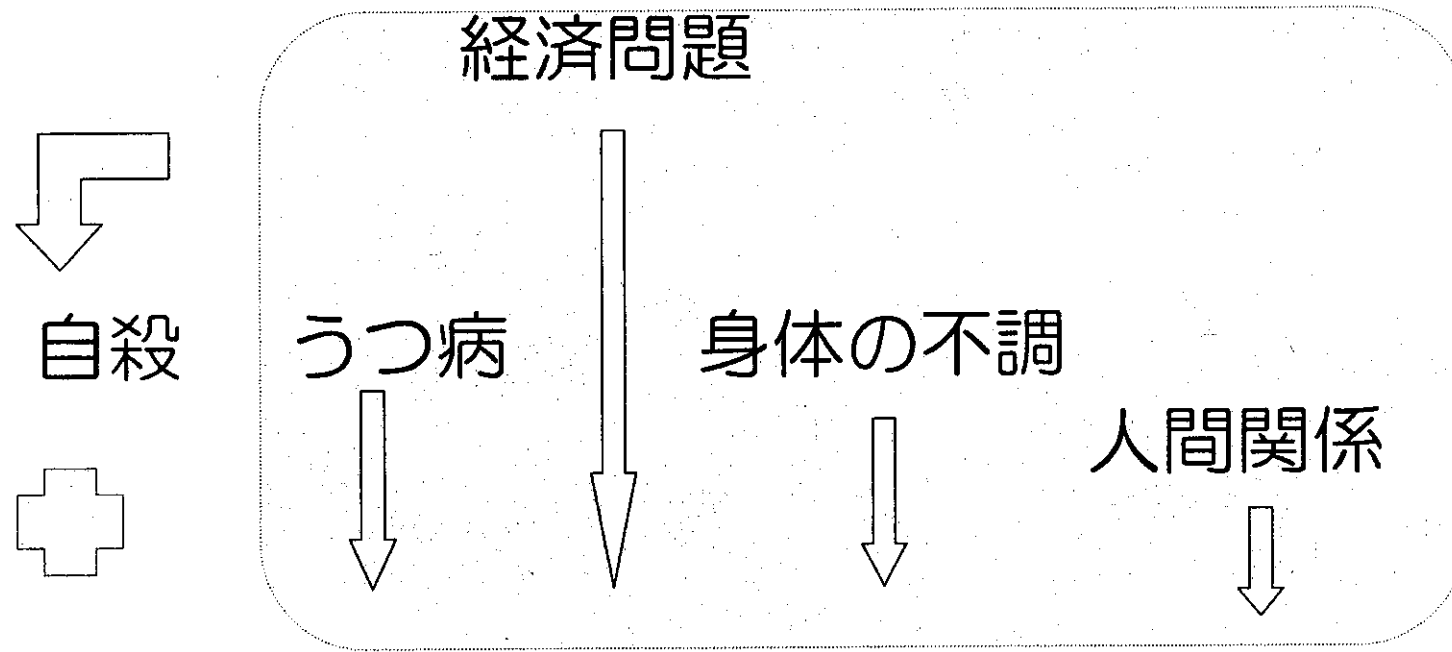
実態と防止対策を明確にし
がたい自殺



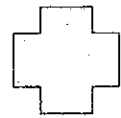
自殺防止対策の対象と方法を明らかにする → 社会全体の取り組み



自殺の動機と防止対策からみた実態



自殺



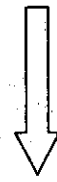
うつ病



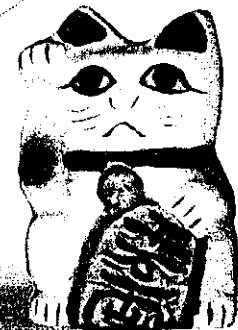
経済問題



身体の不調

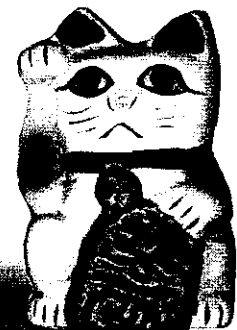


人間関係



実施した研究

- ❁ 自殺の実態把握に関する方法論的研究
- ❁ 自殺の実態把握における法医病理学的所見の活用
- ❁ 自殺に関する心理社会的要因の把握方法
- ❁ 自殺実態のモニタリングのあり方に関する研究
- ❁ 医療における自殺の実態把握の方法に関する研究
- ❁ 自殺予防と場所・空間
- ❁ 自殺防止における連携の実態に関する研究
- ❁ 自殺予防に関する各国の取り組み
- ❁ 鹿児島県における自殺防止にかかる研究
- ❁ 自殺防止対策の対象および方法の明確化



自殺の実態把握に関する方法論的研究

1 問題点

- 1) 自殺のrisk factorである精神障害のprevalence rateについて、最近のepidemiological dataがない
- 2) Psychological autopsy（心理学的剖検）を用いた詳細な自殺の疫学研究がない

2 対応

- 1) 現在、精神障害疫学調査の準備段階
- 2) 自殺者についての系統的な資料収集とつながる「専門家の養成を含む、自殺者の家族や未遂者をサポートする組織が必要」

